級別に取り組む、漢字の問題プリント

漢字ドリル

漢検 5 級

第7巻　練習＋問題

読み、書き、くり返し。

36字

この巻で学ぶ漢字

この巻で取り組む漢字の一部

週 道 遠 里 野 長

練習してから、問題に挑戦

本文 57ページ・答えは各用紙のQRから

diglabo.com

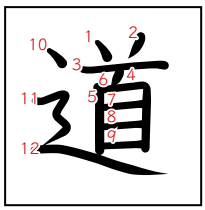
diglabo

漢検の級別配当を参考にした独自教材です。公式問題集ではありません。

5きゅう 7かん たんい1 れんしゅう（1）

なまえ

道

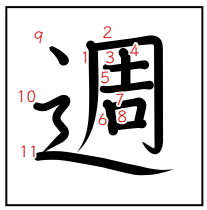


訓 みち
音 ドウ

- 道（みち）
- 道路（どうろ）
- 水道（すいどう）

部首 道 しんにょう 12画

週

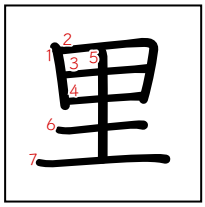


音 シュウ

- 今週（こんしゅう）
- 来週（らいしゅう）
- 週間（しゅうかん）

部首 週 しんにょう 11画

里

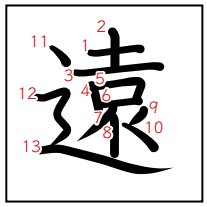


訓 さと
音 リ

- 里（さと）
- 千里（せんり）
- 古里（ふるさと）

部首 里 さと 7画

遠



訓 とお（い）
音 エン

- 遠い（とおい）
- 遠足（えんそく）
- 遠回り（とおまわり）

部首 遠 しんにょう 13画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい1 れんしゅう（2）

なまえ

長

訓 音

チョウ

なが（い）

・長い（ながい）
・校長（こうちょう）
・社長（しゃちょう）

部首 長 ながい 8画

野

訓 音

ヤ

の

・野原（のはら）
・野球（やきゅう）
・野菜（やさい）

部首 野 さとへん 11画

十

訓 音

ジュウ

ジッ

とお

と

・十日（とおか）
・十月（じゅうがつ）
・十人（じゅうにん）

部首 十 じゅう 2画

一

訓 音

イチ

イツ

ひと

ひと（つ）

・一つ（ひとつ）
・一年（いちねん）
・一月（いちがつ）

部首 一 いち 1画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい1 A

なまえ

/ 14

1. 今(こん)□(しゅう)の給食(きゅう)当番はぼくだ
2. □(えん)足(そく)のおやつを買いに行く
3. 子犬と□(の)原(はら)をかけ回る
4. 夏休みまであと一□(しゅう)間(かん)だ
5. 花を見に□(とお)回(まわ)りして帰る
6. 公園で兄と□(や)球(きゅう)をして遊(あそ)ぶ
7. 知らない人に道を聞かれる □
8. 秋になると里の祭(まつ)りでおみこしが出る □
9. この川は日本で一番長い □
10. 外国(がいこく)からの荷物(にもつ)が十日でとどいた □
11. 信号(しんごう)を見て道路をわたる □
12. 千里の道も一歩から □
13. 図工の絵を校長にほめられた □
14. 名前(まえ)を五十音のじゅんにならべる □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい1 A-2

なまえ

/ 14

1. 小学校に入って□年(いちねん)がたつ
2. お正月のある□月(いちがつ)は寒(さむ)い
3. 来(らい)□(しゅう)はキャンプに行く
4. 先(せん)□(しゅう)の遠足で山に登(のぼ)った
5. 畑(はたけ)の□(や)菜(さい)でサラダを作る
6. ぼくは試(し)合で外(がい)□(や)をまかされた
7. 遠足(えん)は来月(らい)の二十日だ
8. エレベーターには十人まで乗(の)れる
9. 外の水道で手をあらう
10. この坂(さか)を上るのが駅(えき)への近道だ
11. 古里の友達(だち)から手紙がとどく
12. 山里の小川でメダカをすくう
13. 今年の春に新しい校長が来た
14. 父はサッカークラブの会長をしている

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい1 B

なまえ

/ 16

1. 信号(しんごう)を見て□(どう)路(ろ)をわたる
2. 祖父(そ)の古(ふる)□(さと)は雪国だ
3. 図工の絵を校(こう)□(ちょう)にほめられた
4. □(じゅう)月(がつ)に運動会(うんどうかい)がある
5. おにごっこに□(じゅう)人(にん)があつまった
6. 歯(は)みがきの間は水(すい)□(どう)を止める
7. 雪がとけて山(やま)□(ざと)に春が来る
8. おじさんはケーキ屋(や)の社(しゃ)□(ちょう)だ
9. 今週 から新しい先生が来る □
10. おばあちゃんの家はここから 遠い □
11. 弟と 野原 で四つ葉(ば)のクローバーをさがす □
12. おやつのクッキーを 一つ ずつくばる □
13. 遠足 のおやつを買いに行く □
14. 公園で兄と 野球 をして遊(あそ)ぶ □
15. カレンダーをめくると六月 一日 だった □
16. 音楽会は 来週 の土曜日だ □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい2 れんしゅう（1）

なまえ

間

訓	音
ま	カン
あいだ	ケン

・間（あいだ）
・時間（じかん）
・人間（にんげん）

部首 間 もんがまえ 12画

門

音
モン

・門（もん）
・校門（こうもん）
・正門（せいもん）

部首 門 もん 8画

雲

訓	音
くも	ウン

・雲（くも）
・雲海（うんかい）
・雨雲（あまぐも）

部首 雲 あめかんむり 12画

雪

訓	音
ゆき	セツ

・雪（ゆき）
・新雪（しんせつ）
・初雪（はつゆき）

部首 雪 あめかんむり 11画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい2 れんしゅう（2）

なまえ

頭

訓	音
あたま	ズ
	トウ

・頭（あたま）
・教頭（きょうとう）
・頭上（ずじょう）

部首 頭 おおがい 16画

電

音
デン

・電気（でんき）
・電車（でんしゃ）
・電話（でんわ）

部首 電 あめかんむり 13画

王

音
オウ

・王（おう）
・王子（おうじ）
・王女（おうじょ）

部首 王 おう 4画

年

訓	音
とし	ネン

・年（とし）
・学年（がくねん）
・来年（らいねん）

部首 年 かん 6画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい2 よみのれんしゅう 2

なまえ

雪

訓 ゆき

音 セツ

- 雪（ゆき）
- 新雪（しんせつ）
- 初雪（はつゆき）

部首 雪 あめかんむり 11画

門

音 モン

- 門（もん）
- 校門（こうもん）
- 正門（せいもん）

部首 門 もん 8画

間

訓 ま

音 カン ケン あいだ

- 間近（まちか）
- 時間（じかん）
- 人間（にんげん）

部首 間 もんがまえ 12画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい2 A

なまえ

/ 16

1. 朝は先生が 校(こう) □(もん) の前に立つ
2. 今年は十一月に 初(はつ) □(ゆき) が降(ふ)った
3. 部屋(へや)を出るときは □(でん) 気(き) を消(け)す
4. 兄の高校はサッカーの 名(めい) □(もん) だ
5. 冬が長い □(ゆき) 国(ぐに) でくらす
6. はじめて一人で □(でん) 車(しゃ) に乗(の)る
7. 木と木の 間 にハンモックをつるす
8. 空を見上げると 雲 が風に流(なが)されていく
9. シャンプーをあわ立てて 頭 をあらう
10. ライオンは動物(どうぶつ)の 王 とよばれる
11. テストでは 時 間 が足りなかった
12. サルは 人 間 によく似(に)ている
13. 山頂(ちょう)から 雲 海 を見下ろす
14. 校長の代(か)わりに 教 頭 が来る
15. 大きな木の枝(えだ)が 頭 上 に広がる
16. おじいちゃんとのしょうぎで 王 手 をかけた

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい2 A-2

なまえ

/ 17

1. ぼくと姉(あね)は 学(がく) □(ねん) が二つちがう
2. 来(らい) □(ねん) は海(うみ)に行(い)きたい
3. 運動(うんどう)会の日は 正(せい) □(もん) から入る
4. おじさんは魚料理(りょう)が 専(せん) □(もん) だ
5. 新(しん) □(せつ) が朝日にかがやく
6. ころがすと □(ゆき) 玉(だま) が大きくなる
7. 友達(だち)の家に □(でん) 話(わ) をかける
8. ラジコンに □(でん) 池(ち) を二本入れる
9. ゴールが 間近 に見えてきた □
10. 王子 がガラスのくつを見つけた □
11. 女王 がお城(しろ)の窓(まど)から手をふる □
12. ゲームをするのは一日一 時間 までと決(き)めている □
13. ロボットが 人間 のように話す □
14. たちまち空が 雨雲 でまっくらになった □
15. 朝早く山に登(のぼ)ると 雲海 が見えた □
16. ラーメン屋(や)の行列(れつ)の 先頭 にならぶ □
17. ろう下で 教頭 に会ってあいさつした □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい2 B

なまえ

/ 17

1. テストでは 時(じ) □(かん) が足りなかった
2. 西の空から 雨(あま) □(ぐも) が近づく
3. 校長の代(か)わりに 教(きょう) □(とう) が来る
4. お城(しろ)に □(おう) 子(じ) がすんでいる
5. □(おう) 女(じょ) がきれいなドレスを着(き)る
6. サルは 人(にん) □(げん) によく似(に)ている
7. ゴールが □(ま) 近(ちか) に見えてきた
8. 山頂(ちょう)から □(うん) 海(かい) を見下ろす
9. リレーで兄が 先(せん) □(とう) を走る
10. 友達(だち)の家の 門 の前で待(ま)ち合わせる □
11. 夜のうちに 雪 が一メートルもつもった □
12. 暗(くら)くなったので 電気 をつける □
13. お正月に新(あたら)しい 年 をむかえる □
14. 新雪 が朝日にかがやく □
15. 学年 ごとにならんで写真(しゃしん)をとる □
16. 遠足の日は 正門 の前に集(あつ)まる □
17. 線路(ろ)の上を 電車 が走っていく □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい3 れんしゅう（1）

なまえ

風

風

訓	音
かざ	フウ
かぜ	

・風（かぜ）
・台風（たいふう）
・強風（きょうふう）

部首 風 かぜ 9画

顔

顔

訓	音
かお	ガン

・顔（かお）
・顔色（かおいろ）
・朝顔（あさがお）

部首 顔 おおがい 18画

首

首

訓	音
くび	シュ

・首（くび）
・首都（しゅと）
・手首（てくび）

部首 首 くび 9画

食

食

訓	音
た（べる）	ショク
く（う）	

・食べる（たべる）
・食事（しょくじ）
・食う（くう）

部首 食 しょく 9画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい3 れんしゅう（2）

なまえ

高

訓 音

コウ
たか（い）
たか
たか（まる）
たか（める）

・高い（たかい）
・高原（こうげん）
・高台（たかだい）

部首 高（たかい） 10画

馬

訓 音

バ
うま
ま

・馬（うま）
・馬車（ばしゃ）
・竹馬（たけうま）

部首 馬（うま） 10画

兄

訓 音

キョウ
あに

・兄（あに）
・兄弟（きょうだい）
・親兄弟（おやきょうだい）

部首 兄（ひとあし） 5画

貝

訓

かい

・貝（かい）
・赤貝（あかがい）
・巻貝（まきがい）

部首 貝（かい） 7画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい3 よみのれんしゅう 2

なまえ

風

風

訓 音

フウ
かぜ
かざ

・風(かぜ)
・台風(たいふう)
・強風(きょうふう)

顔

顔

訓 音

ガン
かお

・顔(かお)
・顔色(かおいろ)
・朝顔(あさがお)

高

高

訓 音

コウ
たか(い)
たか
たか(まる)
たか(める)

・高まる(たかまる)
・高める(たかめる)
・高原(こうげん)

部首 風 かぜ 9画

部首 顔 おおがい 18画

部首 高 たかい 10画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい3 A

なまえ

/ 17

1. 先生はみんなの□色(かお/いろ)を見て回る
2. おばあちゃんの家で□事(しょく/じ)をする
3. おひめ様(さま)が□車(ば/しゃ)に乗(の)る
4. すしの赤(あか)□(がい)はこりこりしている
5. アサリは二枚(に/まい)□(がい)だ
6. 公園のねこたちに新(しん)□(がお)がまじる
7. 今日の給(きゅう)□(しょく)はカレーだ
8. 公園で竹(たけ)□(うま)の練習(れんしゅう)をする
9. まどを開(あ)けるとすずしい風が入ってきた
10. マフラーを首に巻(ま)く
11. 富士(ふじ)山は日本一高い山だ
12. 兄は中学校でサッカー部(ぶ)に入っている
13. テレビで台風の進(す)む道を見る
14. 旅行(りょ)で首都の町を歩く
15. すずしい高原でキャンプする
16. 町が見わたせる高台に立つ
17. いとこのお兄さんと虫取(と)りに行く

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい3 A-2

なまえ

/ 17

1. すなはまで 巻(まき) □(がい) をひろう
2. ホタテの □(かい) 柱(ばしら) をバターで焼(や)く
3. ベランダで 朝(あさ) □(がお) のつるがのびる
4. 友達(だち)の 横(よこ) □(がお) を絵にかく
5. 父は □(しょく) 後(ご) にコーヒーを飲(の)む
6. 母がいそがしい日は 外(がい) □(しょく) する
7. お母さんのそばで 子(こ) □(うま) がねる
8. 神社(じん)にかけられた 絵(え) □(ま) を読む
9. 高まる □
10. 高める □
11. ぼくたちは三人 兄弟 だ □
12. 毎朝 兄 といっしょに学校へ行く □
13. 夏から秋にかけて 台風 がよく来る □
14. 帰り道に 強風 でかさがこわれた □
15. テニスをしたら 手首 が痛(いた)くなった □
16. 水たまりに入って 足首 までぬれた □
17. バスにゆられて 高原 のホテルに着(つ)いた □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい3 B

なまえ

/ 17

1. テレビで 台(たい)□(ふう)の進(すす)む道を見る
2. うで時計を 手(て)□(くび)にはめる
3. すずしい□(こう) 原(げん)でキャンプする
4. □(きょう) 弟(だい)でおもちゃを分け合う
5. 正月に 親(おや)□(きょう) 弟(だい)が集(あつ)まる
6. 海沿(ぞ)いの橋(はし)は 強(きょう)□(ふう)で通れない
7. 体育(いく)の前に 足(あし)□(くび)を回す
8. 海で泳(およ)いで 最(さい)□(こう)の気分だ
9. 外から帰ったら手と 顔 をあらう □
10. お昼に公園でおにぎりを 食 べ る □
11. 北海道で 馬 に乗(の)ってみた □
12. しおひがりで 貝 をたくさんとる □
13. おばあちゃんの家で 食 事 をする □
14. 食 う □
15. おひめ様(さま)が 馬 車 に乗(の)る □
16. 貝 が ら を耳に当(あ)てると波(なみ)の音がする □
17. 夏休みの宿題(しゅくだい)で 朝 顔 の観察(かんさつ)をする □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん ふりかえり3 A

なまえ

/ 24

1. 今□の給食当番はぼくだ
2. □足のおやつを買いに行く
3. 子犬と□原をかけ回る
4. 朝は先生が校□の前に立つ
5. 今年は十一月に初□が降った
6. 部屋を出るときは□気を消す
7. 先生はみんなの□色を見て回る
8. おひめ様が□車に乗る
9. すしの赤□はこりこりしている
10. 知らない人に道を聞かれる
11. 秋になると里の祭りでおみこしが出る
12. この川は日本で一番長い
13. 木と木の間にハンモックをつるす
14. 空を見上げると雲が風に流されていく
15. シャンプーをあわ立てて頭をあらう
16. まどを開けるとすずしい風が入ってきた
17. マフラーを首に巻く
18. 富士山は日本一高い山だ
19. 外国からの荷物が十日でとどいた
20. ライオンは動物の王とよばれる
21. 兄は中学校でサッカー部に入っている
22. いとこのお兄さんと虫取りに行く
23. エレベーターには十人まで乗れる
24. 王子がガラスのくつを見つけた

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん ふりかえり3 A-2

なまえ

/ 24

1. おばあちゃんの家で □(しょく)事(じ)をする
2. 小学校に入って □(いち)□(ねん)がたつ
3. ぼくと姉(あね)は学(がく)□(ねん)が二つちがう
4. お正月のある □(いち)月(がつ)は寒(さむ)い
5. すなはまで巻(まき)□(がい)をひろう
6. ホタテの □(かい)柱(ばしら)をバターで焼(や)く
7. 来(らい)□(しゅう)はキャンプに行く
8. 先(せん)□(しゅう)の遠足で山に登(のぼ)った
9. 公園で兄と □(や)球(きゅう)をして遊(あそ)ぶ
10. 畑(はたけ)の □(や)菜(さい)でサラダを作る
11. 運動(うんどう)会の日は正(せい)□(もん)から入る
12. おじさんは魚料理(りょう)が専(せん)□(もん)だ
13. ぼくたちは三人 兄 弟 だ □
14. 毎朝 兄 といっしょに学校へ行く □
15. 遠足(えん)は来月(らい)の 二 十 日 だ □
16. 名前(まえ)を 五 十 音 のじゅんにならべる □
17. 女 王 がお城(しろ)の窓(まど)から手をふる □
18. おじいちゃんとのしょうぎで 王 手 をかけた □
19. 外の 水 道 で手をあらう □
20. この坂(さか)を上るのが駅(えき)への 近 道 だ □
21. 古 里 の友達(だち)から手紙がとどく □
22. 山 里 の小川でメダカをすくう □
23. 父はサッカークラブの 会 長 をしている □
24. ものさしでえんぴつの 長 さ をはかる □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん ふりかえり3 B

なまえ

/ 24

1. 祖父の古□は雪国だ（さと）
2. 図工の絵を校□にほめられた（ちょう）
3. テストでは時□が足りなかった（かん）
4. 西の空から雨□が近づく（ぐも）
5. テレビで台□の進む道を見る（ふう）
6. うで時計を手□にはめる（くび）
7. すずしい□原でキャンプする（げん）
8. □月に運動会がある（じゅう）（がつ）（うんどうかい）
9. お城に□子がすんでいる（おう）（しろ）（じ）
10. □弟でおもちゃを分け合う（きょう）（だい）
11. 花のつぼみが□日でひらいた（とお）（か）
12. 今週から新しい先生が来る
13. おばあちゃんの家はここから遠い
14. 弟と野原で四つ葉のクローバーをさがす（ば）
15. 友達の家の門の前で待ち合わせる（だち）（ま）
16. 夜のうちに雪が一メートルもつもった
17. 暗くなったので電気をつける（くら）
18. 外から帰ったら手と顔をあらう
19. お昼に公園でおにぎりを食べる
20. 北海道で馬に乗ってみた（の）
21. おやつのクッキーを一つずつくばる
22. お正月に新しい年をむかえる（あたら）
23. しおひがりで貝をたくさんとる
24. 入学したばかりの一年生が校庭にならぶ（てい）

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん ふりかえり3 B-2

なまえ

/ 24

1. 信号を見て□路をわたる
2. 校長の代わりに教□が来る
3. 正月に親□弟が集まる
4. おにごっこに□人があつまった
5. 両手のゆびは□本ある
6. □女がきれいなドレスを着る
7. 女□が馬車で町を通る
8. 歯みがきの間は水□を止める
9. 雪がとけて山□に春が来る
10. 子犬の□親をさがす
11. カレンダーをめくると六月 一日 だった
12. 雨がふって 一日 中 外で遊べない
13. 学年 ごとにならんで写真をとる
14. 貝 が ら を耳に当てると波の音がする
15. 岩のすきまに 貝 がくっついている
16. 音楽会は 来 週 の土曜日だ
17. おばの家に 一 週 間 とまる
18. 明日は 遠 足 なので早くねる
19. 遠 く に富士山が見える
20. 打ったボールが 外 野 へ飛んでいった
21. 秋の 野 山 が赤や黄色に染まる
22. 帰りの時間に母が 校 門 までむかえに来る
23. 遠足の日は 正 門 の前に集まる
24. スキー場のふかふかの 新 雪 をすべる

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい4 れんしゅう（1）

なまえ

鳥

訓	音
とり	チョウ

・鳥（とり）
・野鳥（やちょう）
・小鳥（ことり）

部首 鳥（とり） 11画

魚

訓	音
さかな	ギョ
うお	

・魚（さかな）
・金魚（きんぎょ）
・魚市場（うおいちば）

部首 魚（うお） 11画

麦

訓
むぎ

・麦（むぎ）
・小麦（こむぎ）
・大麦（おおむぎ）

部首 麦（むぎ） 7画

鳴

訓	音
な（らす）	メイ
な（る）	
な（く）	

・鳴く（なく）
・悲鳴（ひめい）
・鳴る（なる）

部首 鳴（とり） 14画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい4 れんしゅう（2）

なまえ

黒

訓	音
くろ（い）	コク
黒字（くろじ）	黒い（くろい）
黒板（こくばん）	

部首 黒（くろ） 11画

黄

訓	音
き	オウ
黄緑（きみどり）	黄色（きいろ）
黄土色（おうどいろ）	

部首 黄（き） 11画

寺

訓	音
てら	ジ
古寺（こじ）	寺（てら）
山寺（やまでら）	

部首 寺（すん） 6画

同

訓	音
おな（じ）	ドウ
同時（どうじ）	同じ（おなじ）
合同（ごうどう）	

部首 同（くち） 6画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい4 よみのれんしゅう 2

なまえ

鳥	鳥	魚	魚	鳴	鳴
	訓 音		訓 音		訓 音
	チョウ		ギョ		メイ
	とり		うお		な（く）
			さかな		な（る）
	・鳥（とり）		・魚（さかな）		な（らす）
	・野鳥（やちょう）		・金魚（きんぎょ）		・鳴らす（ならす）
	・小鳥（ことり）		・魚市場（うおいちば）		・悲鳴（ひめい）
					・共鳴（きょうめい）

部首 鳥 とり 11画

部首 魚 うお 11画

部首 鳴 とり 14画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい4 A

なまえ

/ 17

1. お祭りでもらった 金 □ を飼う
2. おばけやしきで 悲 □ を上げる
3. 一年生は □ 色 のぼうしをかぶる
4. 二つの学校が 合 □ で遠足に行く
5. 二人が □ 時 にゴールした
6. 海に住む 人 □ のお話を読む
7. 友達の考えに 共 □ する
8. ぬり絵の葉を □ 緑 でぬる
9. 大空を 鳥 が飛んでいく
10. 初夏になると 麦 が金色に実る
11. 父の 黒い かさを借りる
12. 大みそかの夜に 寺 でかねをつく
13. 森で 野 鳥 を観察する
14. チョークで 黒 板 に字を書く
15. 赤ではなく 黒 字 で書く
16. 木にかこまれた 山 寺 はしずかだ
17. このうどんは国産の 小 麦 で作られている

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい4 B

なまえ

/ 18

1. 朝早くから 小(こ) [ ](とり) がさえずる
2. パンは 小(こ) [ ](むぎ) から作られる
3. チョークで [ ](こく) 板(ばん) に字を書く
4. 夕方に 山(やま) [ ](でら) のかねが鳴る
5. 昔(むかし)は [ ](てら) 子(こ) 屋(や) で学んだ
6. ひなが 親(おや) [ ](どり) からえさをもらう
7. この畑(はたけ)では 大(おお) [ ](むぎ) を作っている
8. 赤ではなく [ ](くろ) 字(じ) で書く
9. カラスの羽は [ ](くろい)
10. ねこが台所(どころ)の 魚 をねらっている
11. となりの家のニワトリが朝早くから 鳴 く
12. たんぽぽがさいて野原が 黄 色 になった
13. ぼくと兄は 同 じ 学校に通っている
14. お祭(まつ)りでもらった 金 魚 を飼(か)う
15. 朝の 魚 市 場 はにぎやかだ
16. おばけやしきで 悲 鳴 を上げる
17. やかんの笛(ふえ)が 鳴 る
18. 絵の具(ぐ)の 黄 土 色 で地面(めん)をぬる

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい4 B-2

なまえ

/ 16

1. 京都の古□を見て回る
2. この町には古い□社が多い
3. 森で野□を観察する
4. 池に水□がうかんでいる
5. 水とうに□茶を入れて出かける
6. 北海道の広い□畑を見に行く
7. お気に入りの力士に□星がつく
8. 図工で□色の絵の具を使う
9. 自転車のベルを鳴らす
10. ぼくと弟は同時に手を上げた
11. サッカーの試合は同点のまま終わった
12. 水そうの中で赤い金魚がすいすい泳ぐ
13. 絵本に出てくる人魚は海の中でくらしている
14. 朝七時に目覚まし時計が鳴る
15. イチョウの黄色い葉がちる
16. 道ばたに黄色い花がさいている

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい5 れんしゅう（1）

なまえ

世

訓	音
よ	セ　セイ

・世界（せかい）　・世紀（せいき）　・世（よ）

部首 世 いち　5画

丁

音
チョウ

・横丁（よこちょう）　・包丁（ほうちょう）　・丁目（ちょうめ）

部首 丁 いち　2画

主

訓	音
おも	ぬし　シュ

・主に（おもに）　・主人（しゅじん）　・主（ぬし）

部首 主 てん　5画

両

音
リョウ

・両親（りょうしん）　・両足（りょうあし）　・両手（りょうて）

部首 両 いち　6画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい5 れんしゅう（2）

なまえ

予

予

音

ヨ

・予定（よてい）
・予想（よそう）
・予習（よしゅう）

部首 予 はねぼう 4画

乗

乗

訓 音

ジョウ
の（る）
の（せる）

・乗り場（のりば）
・乗車（じょうしゃ）
・乗せる（のせる）

部首 乗 の 9画

歌

歌

訓 音

カ
うた
うた（う）

・歌う（うたう）
・歌手（かしゅ）
・校歌（こうか）

部首 歌 あくび 14画

戸

戸

訓 音

コ
と

・戸（と）
・雨戸（あまど）
・戸口（とぐち）

部首 戸 と 4画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい5 A

なまえ

/ 18

1. ぼくの家は三□(ちょう)目(め)にある
2. 石けんで□(りょう)手(て)をよくあらう
3. 前のドアからバスに□(じょう)車(しゃ)する
4. 台風の夜は雨(あま)□(ど)をしめる
5. 包(ほう)□(ちょう)でキャベツを細かくきざむ
6. なわとびを□(りょう)足(あし)でとぶ
7. 電車の□(じょう)客(きゃく)がホームにおりる
8. お客(きゃく)さんを□(と)口(ぐち)で見送(おく)る
9. 世の中の出来事を毎朝新聞で知る □
10. 駅にわすれた荷物の主をさがす □
11. 日曜日に公園へ行く予定を立てる □
12. おふろで好(す)きな曲(きょく)を歌う □
13. 今は二十一世紀のはじめだ □
14. 地図で世界の国を調べる □
15. パン屋の主人が朝早く起きる □
16. わたしは主に夕食の後で本を読む □
17. 遠足のおやつの予算は三百円までだ □
18. 人気の歌手が町にやって来る □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい5 B

なまえ

/ 17

1. 地図で［せ］界（かい）の国を調べる
2. パン屋の［しゅ］人（じん）が朝早く起きる
3. 明日の遠足の［よ］定（てい）を聞く
4. コンサートで［か］手（しゅ）が手をふる
5. 当番で金魚の［せ］話（わ）をする
6. この文の［しゅ］語（ご）に線を引く
7. 運動会の勝ち負けを［よ］想（そう）する
8. 音楽の時間に校（こう）［か］を習（なら）う
9. ふうとうに住所の 丁目 と番地を正しく書く
10. ゴールした走者が 両手 を高くあげる
11. バスの 乗り場 で行列を作って待つ
12. げんかんの 戸 をそっと開（あ）ける
13. 前のドアからバスに 乗車 する
14. バスが駅でお客さんを 乗せる
15. 二丁目 のかどを右にまがると公園がある
16. 大きな川の 両岸 に家がたくさんならぶ
17. 朝になって 雨戸 を開（あ）ける

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい6 れんしゅう（1）

なまえ

仕

訓：つか（える）
音：シ

- 仕草（しぐさ）
- 仕える（つかえる）
- 仕事（しごと）

部首：にんべん 5画

事

訓：こと
音：ジ

- 事（こと）
- 火事（かじ）
- 仕事（しごと）

部首：はねぼう 8画

代

訓：か（える）／か（わる）／よ
音：ダイ／タイ

- 時代（じだい）
- 交代（こうたい）
- 代わる（かわる）

部首：にんべん 5画

他

訓：ほか
音：タ

- 他（ほか）
- 他人（たにん）
- 他国（たこく）

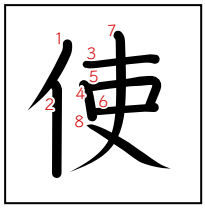
部首：にんべん 5画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい6 れんしゅう（2）

なまえ

使



使

訓 音

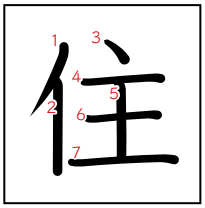
シ

つか（う）

・使用（しよう）
・使う（つかう）
・大使（たいし）

部首 使 にんべん 8画

住



住

訓 音

ジュウ

す（む）

す（まう）

・住所（じゅうしょ）
・住む（すむ）
・住まう（すまう）

部首 住 にんべん 7画

船

船

訓 音

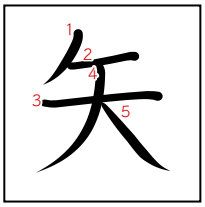
セン

ふね

ふな

・船（ふね）
・汽船（きせん）
・風船（ふうせん）

部首 船 ふねへん 11画



矢

矢

訓

や

・矢（や）
・矢印（やじるし）
・弓矢（ゆみや）

部首 矢 や 5画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい6 よみのれんしゅう 2

なまえ

仕

訓 つか（える）

音 シ

- 仕事（しごと）
- 仕える（つかえる）
- 仕草（しぐさ）

部首 仕 にんべん 5画

事

訓 こと

音 ジ

- 仕事（しごと）
- 火事（かじ）
- 事（こと）

部首 亅 はねぼう 8画

代

訓 か（える） よ

音 か（わる） タイ ダイ

- 時代（じだい）
- 千代紙（ちよがみ）
- 代える（かえる）

部首 代 にんべん 5画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい6 A

なまえ

/ 17

1. 夜中に近くで火□があった
2. □人の物を勝手に使わない
3. 手紙のふうとうに□所を書く
4. 駅では□印の向きに歩く
5. 友達にもらった大□な手紙
6. 一方をぼくが、□方を兄が持つ
7. アパートの□人にあいさつする
8. 弓□をかまえて的をねらう
9. 子ねこの 仕草 がかわいくて見とれる
10. おじいさんが子供だった 時代 の話を聞く
11. 図書館のパソコンの 使用 は三十分までだ
12. フェリーという大きな 船 に乗る
13. 若い家来が王様に 仕える
14. 友達と 交代 でブランコに乗る
15. 長い運転を母と 代わる
16. 工作の時間にはさみを 使う
17. 昔の 汽船 の写真を見る

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい6 A-2

なまえ

/ 17

1. 父の仕□(ごと)は電車の運転手だ
2. 秋の大きな行□(じ)は運動会だ
3. □(た)国(こく)から来た人と話す
4. 赤と青とその□(ほか)の色
5. 新しい□(す)まいにうつる
6. 森が鳥の□(す)みかになる
7. 家を出た□(や)先(さき)に雨が降(ふ)り出した
8. こいのぼりの上で□(や)車(ぐるま)が回る
9. 九回から投手をエースに代える
10. 千代紙でつるをおる
11. おかしの箱の中に紙で仕切りを作る
12. 意地悪をされても仕返しはやめよう
13. リレーで次の走者と交代する
14. 王様がとなりの国へ使者をおくる
15. 主人公が自分の使命をはたす
16. 手をはなすと風船が空へ上がる
17. つりのために父が朝早く船出する

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい6 B

なまえ

/ 15

1. 母は毎日□事(じ)で帰りがおそい
2. むかしの時(じ)□のくらしを調べる
3. けむりをはいて汽(き)□が進(すす)む
4. 時計の□組(く)みを調べる
5. レジで本の□金(きん)をはらう
6. 風(ふう)□が割(わ)れて大きな音がする
7. 夏休みに一番楽しかった事を作文に書く
8. 分からないので他の人に聞いてみる
9. 友達(だち)に新しい家の住所を教える
10. 博物館(はくぶつかん)で矢を見る
11. 夜中に近くで火事があった
12. 他人の物を勝手に使わない
13. 山のふもとの小さな村に住む
14. 森のおくに住まうふしぎな動物
15. 博物館(はくぶつかん)で古い弓矢を見る

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん たんい6 B-2

なまえ

/ 14

1. 体育館を□(し)用(よう)する時間を決める
2. 割(わ)り算の□(し)方(かた)を先生に教わる
3. 工作の□(し)上(あ)げをする
4. 友達(だち)と交(こう)□(たい)でブランコに乗る
5. クラスの□(だい)表(ひょう)として発表する
6. 外国の大(たい)□(し)が学校に来る
7. 家族みんなで食事のしたくを手伝(つだ)う □
8. 駅前で大きなビルの工事が始まる □
9. こまっている他人にも親切にする □
10. 船で海をわたり他国へ旅をする □
11. 家族で引っこし先の住まいをさがす □
12. マンションの住人が集まって話し合う □
13. ねようとした矢先に電話が鳴った □
14. 矢車がカラカラと音を立てる □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん ふりかえり6 A

なまえ

/ 24

1. 今□の給食当番はぼくだ
2. 子犬と□原をかけ回る
3. 朝は先生が校□の前に立つ
4. 部屋を出るときは□気を消す
5. 先生はみんなの□色を見て回る
6. おひめ様が□車に乗る
7. お祭りでもらった金□を飼う
8. 一年生は□色のぼうしをかぶる
9. ぼくの家は三□目にある
10. 夜中に近くで火□があった
11. 手紙のふうとうに□所を書く
12. おばあちゃんの家はここから遠い
13. 夜のうちに雪が一メートルもつもった
14. お昼に公園でおにぎりを食べる
15. となりの家のニワトリが朝早くから鳴く
16. ゴールした走者が両手を高くあげる
17. 分からないので他の人に聞いてみる
18. おやつのクッキーを一つずつくばる
19. お正月に新しい年をむかえる
20. しおひがりで貝をたくさんとる
21. ぼくと兄は同じ学校に通っている
22. げんかんの戸をそっと開ける
23. 博物館で矢を見る
24. 入学したばかりの一年生が校庭にならぶ

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん ふりかえり6 A-2

なまえ

/ 24

1. 前のドアからバスに□車(じょうしゃ)する
2. 包(ほう)□(ちょう)でキャベツを細かくきざむ
3. 駅前の細い横(よこ)□(ちょう)を歩く
4. 電車の□(じょう)客(きゃく)がホームにおりる
5. 父の仕(し)□(ごと)は電車の運転手だ
6. 秋の大きな行(ぎょう)□(じ)は運動会だ
7. アパートの□(じゅう)人(にん)にあいさつする
8. 新しい□(す)まいにうつる
9. □ カレンダーをめくると六月一日だった
10. □ 雨がふって一日中外(そと)で遊(あそ)べない
11. □ 大きな川の両岸に家がたくさんならぶ
12. □ 大きな水たまりを両足でとびこえる
13. □ こまっている他人にも親切にする
14. □ 船で海をわたり他国へ旅をする
15. □ ぼくと弟は同時に手を上げた
16. □ サッカーの試(し)合は同点のまま終(お)わった
17. □ 学年ごとにならんで写真(しゃしん)をとる
18. □ ぼくは兄(あに)より四つ年下だ
19. □ 朝になって雨戸(あまど)を開(あ)ける
20. □ ねこが戸口で待(ま)っている
21. □ 博物館(はくぶつかん)で古い弓矢を見る
22. □ ねようとした矢先に電話が鳴った
23. □ 貝がら(かい)を耳に当(あ)てると波(なみ)の音がする
24. □ 岩(いわ)のすきまに貝がくっついている

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん ふりかえり6 B

なまえ

/ 24

1. 祖父の古（ふる）□（さと）は雪国だ
2. 西の空から雨（あま）□（ぐも）が近づく
3. うで時計を手（て）□（くび）にはめる
4. パンは小（こ）□（むぎ）から作られる
5. パン屋の□（しゅ）人（じん）が朝早く起きる
6. むかしの時（じ）□（だい）のくらしを調べる
7. お城に□（おう）子（じ）がすんでいる
8. □（きょう）弟（だい）でおもちゃを分け合う
9. 夕方に山（やま）□（でら）のかねが鳴る
10. コンサートで□（か）手（しゅ）が手をふる
11. けむりをはいて汽（き）□（せん）が進（すす）む
12. 知らない人に道を聞かれる
13. この川は日本で一番長い
14. 木と木の間にハンモックをつるす
15. シャンプーをあわ立てて頭をあらう
16. まどを開（あ）けるとすずしい風が入ってきた
17. 富士（ふじ）山は日本一高い山だ
18. 大空を鳥が飛（と）んでいく
19. 父の黒いかさを借（か）りる
20. 世の中の出来事を毎朝新聞で知る
21. 日曜日に公園へ行く予定を立てる
22. 子ねこの仕草がかわいくて見とれる
23. 図書館のパソコンの使用は三十分までだ
24. 昔話でおじいさんがゆめであの世へ行く

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん ふりかえり6 B-2

なまえ

/ 24

1. □月(じゅうがつ)に運動会(うんどうかい)がある
2. この文の□語(しゅご)に線を引く
3. 日本人の□食(しゅしょく)はお米だ
4. レジで本の□金(だいきん)をはらう
5. 友達(だちと)交(こう)□(たい)でブランコに乗る
6. 正月に親(おや)□弟(きょうだい)が集(あつ)まる
7. おにごっこに□人(じゅうにん)があつまった
8. 京都(との)古(こ)□(じ)を見て回る
9. この町には古い□社(じしゃ)が多い
10. 音楽の時間に校(こう)□(か)を習(なら)う
11. 教室に明るい□声(うたごえ)がひびく
12. 風(ふう)□(せん)が割(わ)れて大きな音がする
13. □室(せんしつ)のベッドでねむる
14. 雪がとけて山(やま)□(ざと)に春が来る
15. □ 世界一高い山にいつか登りたい
16. □ わかい王様が世直しをちかう
17. □ 遠足のおやつの予算は三百円までだ
18. □ うらないしの予言がぴたりと当たる
19. □ おばあちゃんから毛糸の手仕事を習う
20. □ おかしの箱の中に紙で仕切りを作る
21. □ 王様がとなりの国へ使者をおくる
22. □ 母にたのまれてお使いに出かける
23. □ 外の水道で手をあらう
24. □ この坂(さか)を上るのが駅(えき)への近道だ

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん かん字のしくみ 1

なまえ

/ 48

1 週

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

2 道

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

3 遠

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

4 里

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

5 野

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

6 長

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

7 門

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

8 間

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

9 雪

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

10 雲

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

11 電

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

12 頭

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん かん字のしくみ 2

なまえ

/ 48

1 顔

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

2 風

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

3 食

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

4 首

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

5 馬

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

6 高

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

7 魚

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

8 鳥

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

9 鳴

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

10 麦

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

11 黄

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

12 黒

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん かん字のしくみ 3

なまえ

/ 48

1 丁

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

2 世

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

3 両

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

4 主

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

5 乗

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

6 予

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

7 事

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

8 仕

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

9 他

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

10 代

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

11 住

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

12 使

部首名 部首 画数 画 太いところは 画目

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん じゅくごのくみたて

なまえ

/ 20

二字の意味のつながりを考え、合う説明の記号を書きましょう。

- ア 反対の意味や対になる二字 — 左右
- イ 意味の近い二字 — 温暖
- ウ 前の字が、後ろの字の様子や種類を示す — 急行
- エ 後ろの字が、前の字の動作の対象を示す — 読書

1. 今週 □
2. 道路 □
3. 遠近 □
4. 里親 □
5. 外野 □
6. 社長 □
7. 開門 □
8. 週間 □
9. 除雪 □
10. 雲海 □
11. 停電 □
12. 先頭 □
13. 新顔 □
14. 強風 □
15. 給食 □
16. 首輪 □
17. 絵馬 □
18. 高音 □
19. 人魚 □
20. 野鳥 □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん おんとくん

なまえ

/ 22

ふりがなを読み、一字ずつ音読みか訓読みかを確かめて、組み合わせの記号を書きましょう。

ア 音と音
イ 音と訓
ウ 訓と訓
エ 訓と音

1. 先週（せんしゅう）
2. 近道（ちかみち）
3. 遠出（とおで）
4. 古里（ふるさと）
5. 野菜（やさい）
6. 校長（こうちょう）
7. 裏門（うらもん）
8. 時間（じかん）
9. 雪国（ゆきぐに）
10. 雲間（くもま）
11. 電気（でんき）
12. 店頭（てんとう）
13. 新顔（しんがお）
14. 北風（きたかぜ）
15. 食事（しょくじ）
16. 手首（てくび）
17. 絵馬（えま）
18. 高台（たかだい）
19. 魚屋（さかなや）
20. 小鳥（ことり）
21. 悲鳴（ひめい）
22. 麦茶（むぎちゃ）

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん はんたいとにたいみ

なまえ

/ 22

対義語は反対や対になる意味、類義語は似た意味の言葉です。読みの候補を使って、□へ漢字一字を書きましょう。同じ読みは一度ずつ使います。

対…対義語
類…類義語

1 対 下車 — □車

2 対 自筆 — □筆

3 対 近海 — □洋

4 対 白星 — □星

5 対 直接 — □接

6 対 臣下 — □君

えん・かん・くろ・しゅ・じょう・だい

7 対 復習 — □習

8 対 肉親 — □人

9 対 巻末 — 巻□

10 対 短期 — □期

11 対 安価 — □価

12 類 故郷 — 郷□

13 類 総理 — □相

14 類 評判 — □評

こう・しゅ・せ・た・ちょう・とう・よ・り

15 類 領域 — 分□

16 類 慣習 — □習

17 類 同感 — 共□

18 類 用意 — □度

19 類 布教 — 伝□

20 類 名家 — 名□

21 類 用件 — 用□

22 類 並立 — □立

し・じ・どう・ふう・めい・もん・や・りょう

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん よじじゅくご

なまえ

/ 24

読みを確かめて、□へ漢字一字を書きましょう。

1. 悪逆無□ (ドウ)
2. 一望千□ (リ)
3. □心満満 (ヤ)
4. 重厚□大 (チョウ)
5. □前成市 (モン)
6. 暗□低迷 (ウン)
7. □光石火 (デン)
8. □寒足熱 (ズ)
9. 破□一笑 (ガン)
10. 台□一過 (フウ)
11. 無芸大□ (ショク)
12. 千軍万□ (バ)
13. 大所□所 (コウ)
14. 一石二□ (チョウ)
15. 大山□動 (メイ)
16. 経□済民 (セイ)
17. 一刀□断 (リョウ)
18. 多□多難 (ジ)
19. □言無用 (タ)
20. 前□未聞 (ダイ)
21. □中八九 (ジッ)
22. 豊□満作 (ネン)
23. 異口□音 (ドウ)
24. 白河夜□ (フネ)

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん よじのじゅくご

なまえ

/ 24

読みを確かめて、□へ漢字一字を書きましょう。

1. 防災□間 シュウ
2. 都□府県 ドウ
3. □洋漁業 エン
4. 一望千□ リ
5. 香味□菜 ヤ
6. 重厚□大 チョウ
7. □前成市 モン
8. 除□作業 セツ

9. 暗□低迷 ウン
10. 太陽□池 デン
11. 先□打者 トウ
12. 破□一笑 ガン
13. 談論□発 フウ
14. 給□当番 ショク
15. 党□討論 シュ
16. 千軍万□ バ

17. 西□東低 コウ
18. 川□料理 ウオ
19. 一石二□ チョウ
20. 大山□動 メイ
21. □金分割 オウ
22. □船来航 クロ
23. □界標準 セ
24. 一挙□得 リョウ

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん ごじをなおす

なまえ

/ 24

次の文にまちがって使われている同じ読みの漢字が一字ある。上に誤字を、下に正しい漢字を書きなさい。

1. 宗末は家族(ぞく)で山へ出かける
   誤 正
2. おばあちゃんに書動を習(なら)う
   誤 正
3. 円方に住(す)むおじから手紙が来る
   誤 正
4. 山の上から広い平夜を見わたす
   誤 正
5. 話し合いで会調を決(き)める
   誤 正
6. 動物園(どうぶつ)の開文を待(ま)つ
   誤 正
7. テストでは時管が足りなかった
   誤 正
8. 新切が朝日にかがやく
   誤 正
9. 山頂(ちょう)から運海を見下ろす
   誤 正
10. 部屋(へや)を出るときは田気を消(け)す
    誤 正
11. 夏はすいかが店灯にならぶ
    誤 正
12. 今日の給職はカレーだ
    誤 正
13. 漢字(かん)の部酒を調(しら)べる
    誤 正
14. 兄は春から公校に通う
    誤 正
15. お祭(まつ)りでもらった金漁を飼(か)う
    誤 正
16. 友達(だち)の考えに共明する
    誤 正
17. チョークで刻板に字を書く
    誤 正
18. 名古屋で八張みそを買う
    誤 正
19. 今は二十一青紀のはじめだ
    誤 正
20. 日曜日に良親と動物園へ行く
    誤 正
21. パン屋の種人が朝早く起きる
    誤 正
22. 港でフェリーに状船する
    誤 正
23. 何かおきそうな預感がする
    誤 正
24. 名前をよばれて返児をする
    誤 正

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん ぶんや れんしゅう1

なまえ

夜

夜

訓	音
よる	ヤ
よ	

・月夜（つきよ）
・夜空（よぞら）
・今夜（こんや）

部首 夜 ゆうべ 8画

円

円

訓	音
まる（い）	エン

・円形（えんけい）
・千円（せんえん）
・百円（ひゃくえん）

部首 円 どうがまえ 4画

秋

秋

訓	音
あき	シュウ

・秋空（あきぞら）
・秋風（あきかぜ）
・秋分（しゅうぶん）

部首 秋 のぎへん 9画

切

切

訓	音
き（れる）	セツ
き（る）	

・切り口（きりくち）
・大切（たいせつ）
・親切（しんせつ）

部首 切 かたな 4画

文

文

音
モン
ブン

・注文（ちゅうもん）
・文章（ぶんしょう）
・作文（さくぶん）

部首 文 ぶん 4画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん ぶんや れんしゅう2

なまえ

色

色

訓 音

ショク
シキ
いろ

・顔色（かおいろ）
・音色（ねいろ）
・原色（げんしょく）

部首 色 いろ 6画

刀

刀

訓 音

トウ
かたな

・小刀（こがたな）
・木刀（ぼくとう）
・宝刀（ほうとう）

部首 刀 かたな 2画

田

田

訓 音

デン
た

・水田（すいでん）
・田畑（たはた）
・青田（あおた）

部首 田 た 5画

晴

晴

訓 音

セイ
は（れる）
は（らす）

・晴天（せいてん）
・快晴（かいせい）
・秋晴れ（あきばれ）

部首 晴 ひへん 12画

交

交

訓 音

コウ
まじ（わる）
まじ（える）
ま（じる）
ま（ざる）
ま（ぜる）

・交通（こうつう）
・交番（こうばん）
・交代（こうたい）

部首 交 なべぶた 6画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん おなじおんのかんじ

なまえ

/ 24

次のカタカナを漢字になおして、□に書きなさい。

1. 分(シュウ)の日は学校が休みだ
2. 夏休みまであと一間(シュウ)だ
3. おばあちゃんに書(しょ)を習(なら)う
4. 二人が時(ドウ)にゴールした
5. 山の絵に近(エン)をつけてかく
6. コンパスで半(はん)をかく
7. 今(こん)は月がとてもきれいだ
8. 山の上から広い平(へい)を見わたす
9. ひまわりがぐんぐん成(せい)する
10. 駅前の細い横(よこ)を歩く
11. 天(てん)クラブで星(ほし)を見る
12. 朝は先生が校(こう)の前に立つ
13. もらった本を大(たい)にする
14. 新(しん)が朝日にかがやく
15. 部屋(へや)を出るときは気(き)を消(け)す
16. 水(すい)にカエルの声(こえ)がひびく
17. お城(しろ)に宝(ほう)がかざってある
18. リレーで兄が先(せん)を走る
19. おばあちゃんの家で事(じ)をする
20. 目立つ原(げん)のポスターをはる
21. 兄と代(たい)で犬の散歩(さん)をする
22. 兄は春から校(こう)に通う
23. ヨーロッパの中(ちゅう)のお城(しろ)
24. 運動会(うんどう)は天(てん)にめぐまれた

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん ぶんや れんしゅう1

なまえ

下

訓	音
さ（がる）	カ
さ（げる）	ゲ
下（げ）車（しゃ）	下（げ）校（こう）
地（ち）下（か）	下（ち）校（こう）

部首 下 いち 3画

親

訓	音
した（しむ）	シン
した（しい）	おや
親（みる）	親（おや）子（こ）
両（りょう）親（しん）	親（しん）友（ゆう）

部首 親 みる 16画

木

訓	音
こ	ボク
き	モク
草（くさ）木（き）	木（もく）曜（よう）日（び）
木（き）	大（たい）木（ぼく）

部首 木 き 4画

多

訓	音
おお（い）	タ
多（たさい）才（さい）	多（たす）数（う）
多（たしょう）少（しょう）	多（たす）数（う）

部首 多 ゆうべ 6画

会

訓	音
あ（う）	カイ
大（たいかい）会（かい）	会（かい）社（しゃ）
会（かい）社（しゃ）	会（かい）社（しゃ）

部首 会 ひとやね 6画

合

訓	音
あ（わせる）	ゴウ
あ（わす）	ガッ
あ（う）	カッ
合（がったい）体（ごう）	合（ごう）計（けい）
合（あいず）図（ず）	合（ごう）計（けい）

部首 合 くち 6画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん ぶんや れんしゅう2

なまえ

牛

訓	音
うし	ギュウ

- 牛肉（ぎゅうにく）
- 子牛（こうし）
- 牛乳（ぎゅうにゅう）

部首 牛（うし） 4画

後

訓	音
あと	ゴ
うし（ろ）	コウ
のち	

- 午後（ごご）
- 後半（こうはん）
- 最後（さいご）

部首 後（ぎょうにんべん） 9画

大

訓	音
おお（いに）	ダイ
おお（きい）	タイ
おお	

- 大学（だいがく）
- 大空（おおぞら）
- 大雨（おおあめ）

部首 大（だい） 3画

方

訓	音
かた	ホウ

- 方向（ほうこう）
- 地方（ちほう）
- 方言（ほうげん）

部首 方（ほう） 4画

語

訓	音
かた（らう）	ゴ
かた（る）	

- 国語（こくご）
- 英語（えいご）
- 言語（げんご）

部首 語（ごんべん） 14画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

5きゅう 7かん おなじくんのかんじ

なまえ

/ 16

次のカタカナを漢字になおして、□に書きなさい。

1. 花のつぼみが□(トオ)日(か)でひらいた
2. 夏休みまではまだ□(トオ)い
3. 春(はる)になって草(くさ)□(キ)が芽(め)を出す
4. ぬり絵の葉(は)を□(キ)緑(みどり)でぬる
5. □(ヨ)の中(なか)の役に立つ
6. 千(ち)□(ヨ)紙(がみ)でつるをおる
7. 父は□(シタ)しい人たちを家に招(まね)く
8. あせをかいたので□(シタ)着(ぎ)をかえる
9. 計算の答えがぴったり□(ア)う
10. 三年ぶりにいとこと□(ア)う
11. 六月は雨の日が□(オオ)い
12. □(オオ)空(ぞら)に白い雲(くも)がうかぶ
13. ふり向(む)くと□(ウシ)ろに犬がいた
14. 子(こ)□(ウシ)がよろよろと立ち上がる
15. 旅行(りょ)の思い出を家族(ぞく)に□(カタ)る
16. 地図の見(み)□(カタ)を習(なら)う

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10